



～鴨川条例編～

作画: 松岡阿実
(京都精華大学 大学院 芸術研究科卒)

夕焼けの鴨川：きれいですねえ

若者たちもこの風景に酔いしれて…ん？

もくもく

おや酔ってるのは風景にやなくてお酒にかいな

あつ 山田くんやー！

いじりやい！

どうですか？

ちよっとお待ち くださいっ！！

この場所でのバーベキューは「鴨川条例」により、禁止されています

か…？

鴨川条例!?

今年4月1日から美しく安全な鴨川を守るための規制がスタートしてらんです

一定区域でのバーベキューや打ち上げ花火、自転車などの放置ができなくなっているんですよ

区域ごとに禁止行為を示す看板が立っていますので守ってくださいね

やぶつたら やっぱ罰金とかあるんですか…？

たしかに条例をやぶれば罰則はありますが…でも罰を受けないために守るってことじゃなく

鴨川が私たちにとって美しく・安全な場所であり続けるためにみんなで守ろうってことなんです

もくもく

住民の皆さんも苦しんでいた!

バーベキューの煙においが…

花火の音がうるさく…

自転車がジャマで通れない

ほお…

あっ!じゃあ僕たちも手伝います!

そうそう!! ではさつそく川のごみでも拾うことから始めようか!

ひじりひじりでいじりやい! やっつけてしましょーん!

あつ山田くんやー!

『みんなの鴨川、愉快な鴨川!』

<http://www.pref.kyoto.jp/kamogawa/>

知っていた方がいい、京都府のあれこれを紹介する本誌の「知ってる? 京都府」コーナーが、ストーリーマンガを引っかけてリニューアルだ。山田くんも可愛いキャラクターになって登場していくぞ。

さて、新連載第一回は、どうやら鴨川についてのようだ。古来、大きな川の周辺には文化が芽生えてきた。京都が誇る一級河川「鴨川」もそうだ。出雲の阿国がやってきて、歌舞伎の発祥となったのも鴨川畔だし、5月からは夏の風物詩である納涼床も始まる。大きく「水」として捉えても、京都には茶の湯の文化もあるし、鴨川はまさに京都を象徴する存在だ。

昔は暴れ川として有名で、洪水をおこしては、町の人を困らせた川でもあったらしい。何度も治水工事をして、今の鴨川があるのだな。思えば軌道修正の歴史でもあったのだ。

その鴨川について、新しい軌道修正とも言える一定の規制(ルールづくり)がスタートしましたよ、というのが上のマンガだ。これからの季節「河原でバーベキューだ!」という花火だ!「自転車ゴージャムだ!」という人も多いだらう。そういつた憩いの場としても、利用されているのが鴨川なのだ。でも一方では、バーベキューによるものすごい煙や臭い、打ち上げ花火等の騒音、自転車の放置などといった問題により、近隣に住む住民や他の利用者などにも迷惑がかかっているらしい。

というわけで、こうした問題を解決するために、去る4月1日から規制が始まっている。違反すると罰金が科せられたりする。ナニナニ? 放置自転車は撤去、バーベキューや打ち上げ花火も中止命令に従わない場合は5万円以下の罰金…。うーん。しかーし! もう一度考えてみよう。罰金があるから守るのではなく、鴨川がいつまでも美しくありつづけるために、一人ひとりがルールを守るといった気持ちが大切なのだ。みんながルールを守れば、今までどおりの美しい鴨川であり続けられるし、みんなの憩いの場として愛されつづける。そういうことなのだ。うんうん。